

オリンピック・パラリンピックを通じて平和な世界を実現しよう 平昌・東京から世界へ 「オリンピック・パラリンピック休戦アピール」署名のお願い

活動の主旨

『オリンピック休戦』は、戦いを休んでスポーツをしよう、オリンピックを開催しようという意味を持つ言葉です。

平和のためにオリンピックを利用しようという考え方は、古代ギリシャ時代（紀元前8世紀頃）から活用されてきました。大昔から人々の生活には紛争や争い事が多く、悲しみや苦しみの中から何とかして平和が欲しいと願い、“エケケイリア”を生み出しました。それはまさに人々の生きるための知恵でした。オリンピック休戦は、ギリシャ語で“エケケイリア”と言い、“手をつなぐ”という意味があります。

オリンピックは、平和の祭典です。4年ごとに互いの無事を確かめ、今を生きている幸福を味わうために大会はあります。肌の色の違いや、宗教、人種を超えて互いを尊敬するためにオリンピックはあります。

オリンピック・パラリンピックを通じて世界が平和になるように署名を集めます。まずはひとり一人が平和を願い、積極的に平和を求めることから始めたいと思います。世界中が平和となることをあきらめないために、どうかサインをして下さい。

呼びかけ人（五十音順・敬称略・平成30年1月22日現在）

明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長、元国際オリンピック休戦財団理事、元国連事務次長
猪谷 千春	国際オリンピック委員会名誉委員、特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー名誉会長
岩崎 恭子	スイミングアドバイザー
岡田 匡令	淑徳大学名誉教授、日本スポーツ学会代表理事
奥村 武博	公認会計士、一般社団法人アスリートデュアルキャリア推進機構代表理事
小倉 和夫	公益財団法人 日本財団パラリンピックサポートセンター理事長
大日方邦子	一般社団法人日本パラリンピアンズ 協会副会長、パラリンピックアルペンスキー金メダリスト
長田 渚左	ノンフィクション作家、特定非営利活動法人スポーツネットワークジャパン理事長
笠原 一也	特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー会長
河合 純一	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長
菊 幸一	筑波大学教授、前日本スポーツ社会学会会長
木村 元彦	ジャーナリスト
具志堅幸司	日本体育大学学長
小谷実可子	日本オリンピック協会理事
笹田 弥生	國學院大学准教授、モスクワオリンピック体操女子日本代表
高橋 一生	リベラルアーツ21代表幹事、元国際基督教大学教授
竹田 恆和	公益財団法人日本オリンピック委員会会長、日本オリンピック協会名誉会長
田臥 勇太	プロバスケットボール選手（B.LEAGUE・栃木ブレックス所属）
玉木 正之	スポーツ&音楽評論家
辻 沙絵	日本体育大学、リオデジャネイロパラリンピック陸上競技日本代表
津田 桂	公立小学校教諭、モスクワオリンピック体操女子日本代表
深代 千之	東京大学教授、一般社団法人日本体育学会会長
文田健一郎	日本体育大学、レスリング世界選手権グレコローマン 59kg級日本代表
細田満和子	星槎大学副学長
堀 莊一	一般財団法人日本スポーツマンクラブ財団常務理事兼事務局長
松浪健四郎	学校法人日本体育大学理事長
森川 貞夫	日本体育大学名誉教授、市民スポーツ&文化研究所代表
師岡 文男	上智大学教授、同大学オリ・パラプロジェクト企画部会長、元GAISF国際スポーツ団体総連合理事
山口 香	筑波大学大学院准教授、公益財団法人日本オリンピック委員会理事、公益財団法人全日本柔道連盟監事
山下 泰裕	東海大学副学長、公益財団法人全日本柔道連盟会長、味の素ナショナルトレーニングセンターセンター長
山脇 直司	東京大学名誉教授
渡邊 一利	公益財団法人日本財団ボランティアサポートセンター理事長

オリンピック・パラリンピック休戦アピール

私たちは世界中のスポーツを愛する人たちやスポーツ団体に「オリンピック・パラリンピック休戦」の意義を広め、2018年平昌冬季大会が「スポーツを通じて世界の平和を」という理想のもと成功することを願い、また、その願いがさらに2020年東京大会の成功へと引き継がれていくことを強く期待して、以下のことを呼びかけます。

1. すべての人々がオリンピック憲章に定められた「平和でよりよい世界の構築に寄与する」ためにオリンピック・ムーブメントの目的を深く理解し、スポーツの平和活用を実践しましょう。
2. 積極的に平和を求めるため、世界中から戦争、紛争、非人道的な行為をなくすために最大の努力をしましょう。
3. 2018年平昌冬季大会、2020年東京大会が「平和の祭典」として成功するために知恵を出して協力をしましょう。

この呼びかけにご賛同いただける方は、ぜひ署名をお願いいたします

集めた署名は、国連事務局、IOC事務局、韓国の平昌オリンピック冬季大会組織委員会、国際オリンピック休戦財団へ、世界平和を求める市民ひとり一人の声として日本スポーツ学会が責任を持って届けます。

署名の方法

署名の方法は、「オンライン署名」と「用紙記入」の2つから、お選びいただけます。

1. 「オンライン署名」の手順 (change.org 内のページから署名する)

1) スマートフォンなどのQRコードリーダーでアクセスする

- ①右のQRコード読み取り → ②リンク先ホームページの「今すぐ賛同！」をタップ →
- ③氏名・メールアドレスを入力し、「賛同！」ボタンをタップ → 署名は完了です



2) パソコンのブラウザなどでアクセスする

- ①インターネットにて「日本スポーツ学会」のホームページを検索 →
- ②「日本スポーツ学会」ホームページ、トップの「オンライン上での署名はこちらから！」をクリック →
- ③リンク先ホームページにて氏名・メールアドレスを入力し「賛同！」ボタンをクリック → 署名は完了です

※ スマートフォンやタブレットからアクセスした場合、2) ②以降の手順は「1) ② → 1) ③」となります。

※ 上記 1)、2) の方法ともに、署名は氏名とメールアドレスを入力して「賛同！」を選択した時点で完了しています。その後、「キャンペーン広告」や「会員登録」の案内がでることがありますが、それらは必ずしもお手続きしていただく必要はございません。

2. 署名用紙への記入

署名用紙へのご署名をご希望の方は、日本スポーツ学会HPより署名フォーム(PDF)をダウンロードしていただき、ご住所とお名前をご記入の上、下記送付先までFAXまたは郵送にてお送りください。

恐れ入りますが、通話料・送料等は皆様のご負担にてお願いいたします。また、郵送の際には簡易書留やレターパックなど、追跡可能な方法でお送りいただければ幸いです。

連絡先 日本スポーツ学会 オリンピック・パラリンピック休戦委員会 (JOPTA)

E-mail : jopta2020@gmail.com FAX : 03-6730-1971

署名HP (change.org 内) : <https://goo.gl/Mp1BsY>

記名式署名送付先 : 〒168-0063 東京都杉並区和泉1-40-13-401

スポーツネットワークジャパン気付

日本スポーツ学会 オリンピック・パラリンピック休戦委員会 行

平成29年11月28日 日本スポーツ学会 オリンピック・パラリンピック休戦委員会 (JOPTA)